

『Evernote』日本法人設立のお知らせ 本日より日本語文字認識機能を提供開始

人気のマルチプラットフォーム対応の記憶拡張サービス『Evernote(エバーノート)』を提供している米国の Evernote Corporation(カリフォルニア州マウンテンビュー市、以下 Evernote)は、このたび全額出資での日本支社「エバーノート株式会社」を設立しましたので、お知らせ致します。

この新会社設立は、急速に増える日本のユーザーに、より良いサービスを提供し、日本独自の幾多のテクノロジーも存分に活かし、開発パートナーの方々へのより良い対応を行うことを目的としています。エバーノート株式会社は東京を本拠地として、今後は Vice President of Japanese Operations として中島健が運営を行います。中島は、Evernote に参画する以前はソニー株式会社の VAIO ビジネス部門戦略担当として活躍していました。

Evernote 日本語版を公式リリースしてまだ3ヵ月あまりにもかかわらず、日本ユーザーの利用頻度は劇的に上昇しています。現在、日本は1日当たりトラフィック量の15%を占めるようになり、Evernote にとって世界で二番目に大きな市場となっています。SONY やキヤノン、富士通や NEC など日本市場を牽引する技術系企業とのパートナーシップ締結が注目を浴びている状況を背景に、Evernote は現在の浸透度を得るに至りました。また、この3ヶ月で5つの Evernote 関連のガイドブックが出版され、合計して5万部以上の売り上げを記録しています。

CEO の Phil Libin は、この発表に際して「エバーノート株式会社設立は我々の会社にとって非常に大きな節目であり、日本市場は、Evernote の今後を担う大きな役割を持つと考えています。特に私が感銘を受けているのが、日本人のユーザーや開発者コミュニティの方々が見せてくれる才能や創造性で、彼らのアイデアが我々の世界進出の舵を握ると言っても過言ではありません。また我々のチームに中島氏が入ってくれることに非常に興奮しており、日米の大企業やスタートアップ環境で働いた素晴らしい経験を基に、弊社の継続的な発展に貢献してくれるでしょう。」と述べております。

また、中島に加えて、エバーノート株式会社は外村仁をエバーノート株式会社の会長として迎えました。外村は日本の IT 市場に影響力のあるベテランの一人で、シリコンバレーの起業家でもあり、過去にはアップルジャパンのマーケティング本部長などとして活躍してきました。

エバーノート株式会社は、今後カスタマーサポート、マーケティング、コミュニティサポート、プロダクト開発のローカルスタッフを採用していく予定です。

Evernote は日本語文字認識機能を提供開始

本日より、Evernote 独自の画像認識技術の日本語サポートが始まりましたのでお知らせ致します。日本語の印刷文字を含む画像はインデックスされ、日本語をデフォルト設定している方は検索が出来るようになりました。現在、すでに Evernote プレミアムをご利用の方は、今までのノートが全て再インデックスされますので、ご自身の Evernote Web サイトの設定画面からこのオプションをご利用頂けます。

Evernote Corporation に関して

Evernote があれば、お気に入りのデバイスやプラットフォームが何であっても、どんな環境でも情報を簡単に保存し、いつでもどこでもその情報にアクセス・検索できるようになります。Evernote は Windows、Mac、Web、iPhone、iPad、Android 他多くのデバイスでご利用頂けます。詳細に関しましては、こちらをご覧ください。(<http://www.evernote.com>)